



Zikomo kwambiri!



ジ コ モ

ク ワ ン ビ リ

日本とザンビアを繋ぐ!!



Muli Bwanji(ムリブワンジ)? 日本は先日雪が降ったそうですね。埼玉県ではあまり雪が降らないので、家族や友達が「雪降ってるよ!」と写真をたくさん送ってくれました。ザンビアでは今は雨期なはずなのに、雨は全然降らず晴れて暑い日々が続いています。配属先の先生たちに雪の写真を見せると大興奮!「雪食べたことある?」と純粋に聞かれて、なんだか癒されました。

さて、ザンビアの新年度・新学期は 1 月に始まります!のはずが、実はザンビア国内でコレラが蔓延した影響で臨時休校となり、学期休みが 1 か月半ほど延びました。そのためこの期間を利用して、やりたい事の1つであった、日本でのオンライン授業を実施しました。普段から接しているわけではない生徒たちに対する一回きりの授業を組み立てることは難しかったですが、ザンビアの事を伝えることができとても楽しかったです。私自身は協力隊員になるまでザンビアという国を知らなかったため、少しでもザンビアについて知ってもらい視野を広げてもらえたら嬉しいです。協力してくださった先生・生徒の皆さん、ありがとうございました。



73番目の言語、手話!!

2月12日、やっとやっと新学期が始まりました。今学期担当するクラスは聴覚障害の5年生です。以前ザンビアには72もの民族語があると書きましたが、忘れてはならないのが73番目の言語、手話です。実は赴任した時から配属先の先生たちと一緒に放課後に手話の勉強をしていました。ザンビアはあいさつを大切にする国。言葉への関心がとても強いと感じます。そして、「言葉」には「手話」も含まれるのです。私が手話を習っていることを他の先生たちも知っているため、「手話を教えて」と言ってくれたり、互いに手話であいさつをしたりします。こうした温かい雰囲気が生徒の安心感に繋がっているのではないかなと感じます。聴覚障害を持つ生徒数は年々増えているようです。途上国では障害を理由に学校に通えない子どもがいる、と聞きます。そのため、生徒数が増えているということは、チャイナマ特別学校ではその心配がないととれるわけです。サポート体制が整っている、温かい雰囲気があるなどの安心できる環境があること、そしてその認知度が広がることで学校に通える子どもが増えるいいなと思います。私も彼らが安心して学べる授業、学級経営をしていきたいです。

ちなみに手話は、世界共通ではありません。日本には日本の手話、ザンビアにはザンビアの手話があります。ザンビア手話は基本的に英語なので、一部異なる表現もあるようですが、大体は世界中で使えるようです。コミュニケーションの幅が一気に広がる感じがしてわくわくしますね!

